

フジテック株式会社 (6406)

2015年11月25日(水)

FUJITEC



2016年3月期第2四半期
決算説明会

チルドレンズ・ホスピタル・オブ・フィラデルフィア(米国)

1 2016年3月期第2四半期 決算報告

2 2016年3月期 通期業績予想

3 中期経営計画最終年度の取り組み

1

2016年3月期第2四半期 決算報告

1-1. 連結決算の概要

売上、利益とも3期連続で過去最高を更新

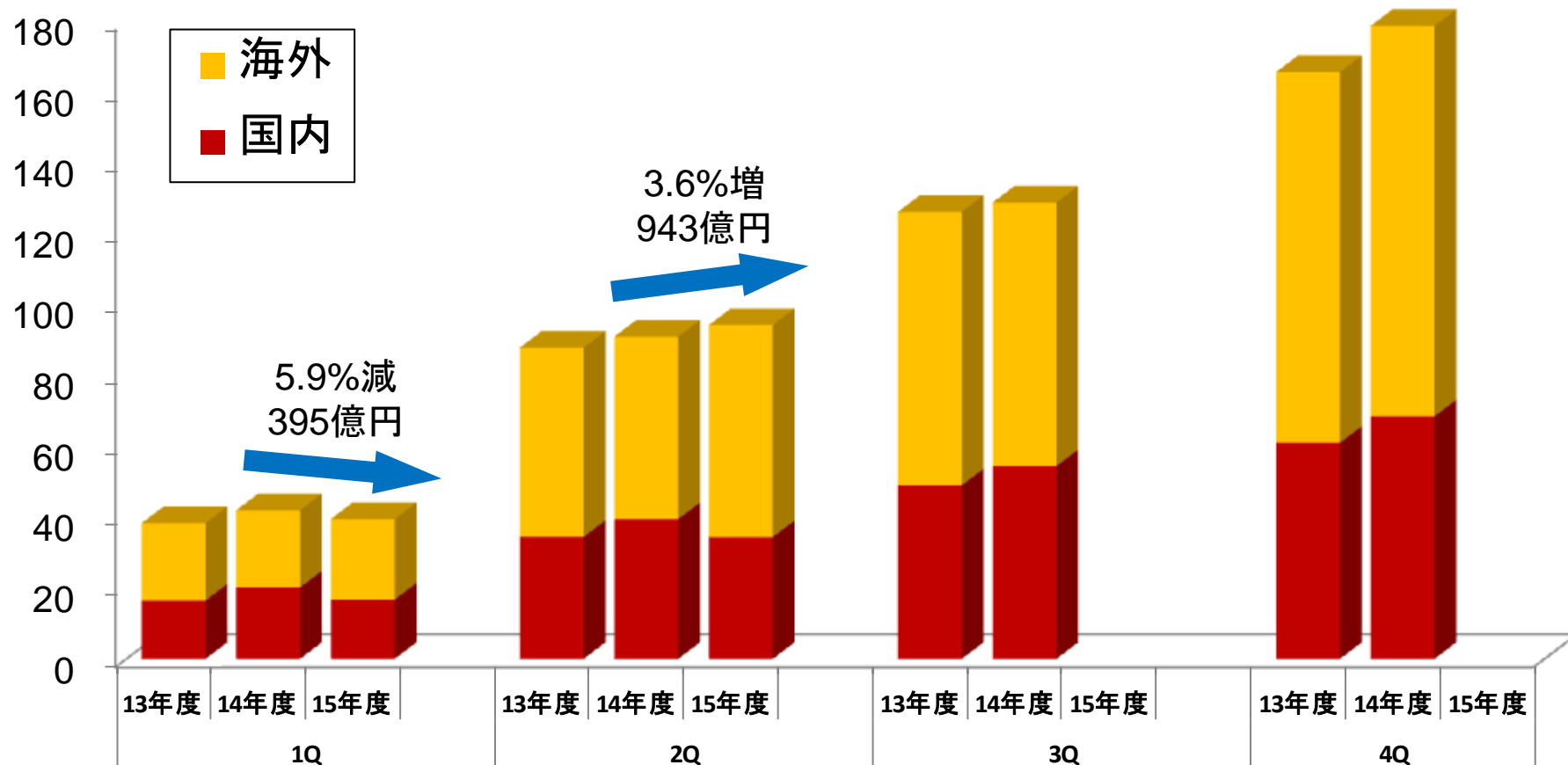
(単位:百万円)

	2016/3 (2Q)	構成比 (利益率)	2015/3 (2Q)	構成比 (利益率)	増減%	期初計画
受注高	94,310	100.0%	91,045	100.0%	+3.6%	-
国内	34,401	36.5%	39,497	43.4%	△12.9%	-
海外	59,908	63.5%	51,547	56.6%	+16.2%	-
売上高	83,728	100.0%	73,976	100.0%	+13.2%	80,000
国内	28,074	33.5%	26,890	36.4%	+4.4%	-
海外	55,653	66.5%	47,085	63.6%	+18.2%	-
営業利益	6,723	8.0%	5,275	7.1%	+27.4%	6,000
経常利益	7,359	8.8%	5,906	8.0%	+24.6%	6,500
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4,633	5.5%	3,333	4.5%	+39.0%	4,000
EPS	57.45円	-	35.95円	-	+21.50円	49.62円

平均為替レート：16/3期 2Q 1米ドル120.16円、15/3期 2Q 1米ドル102.90円

北米が好調。日本が減少、東アジアは実質減少

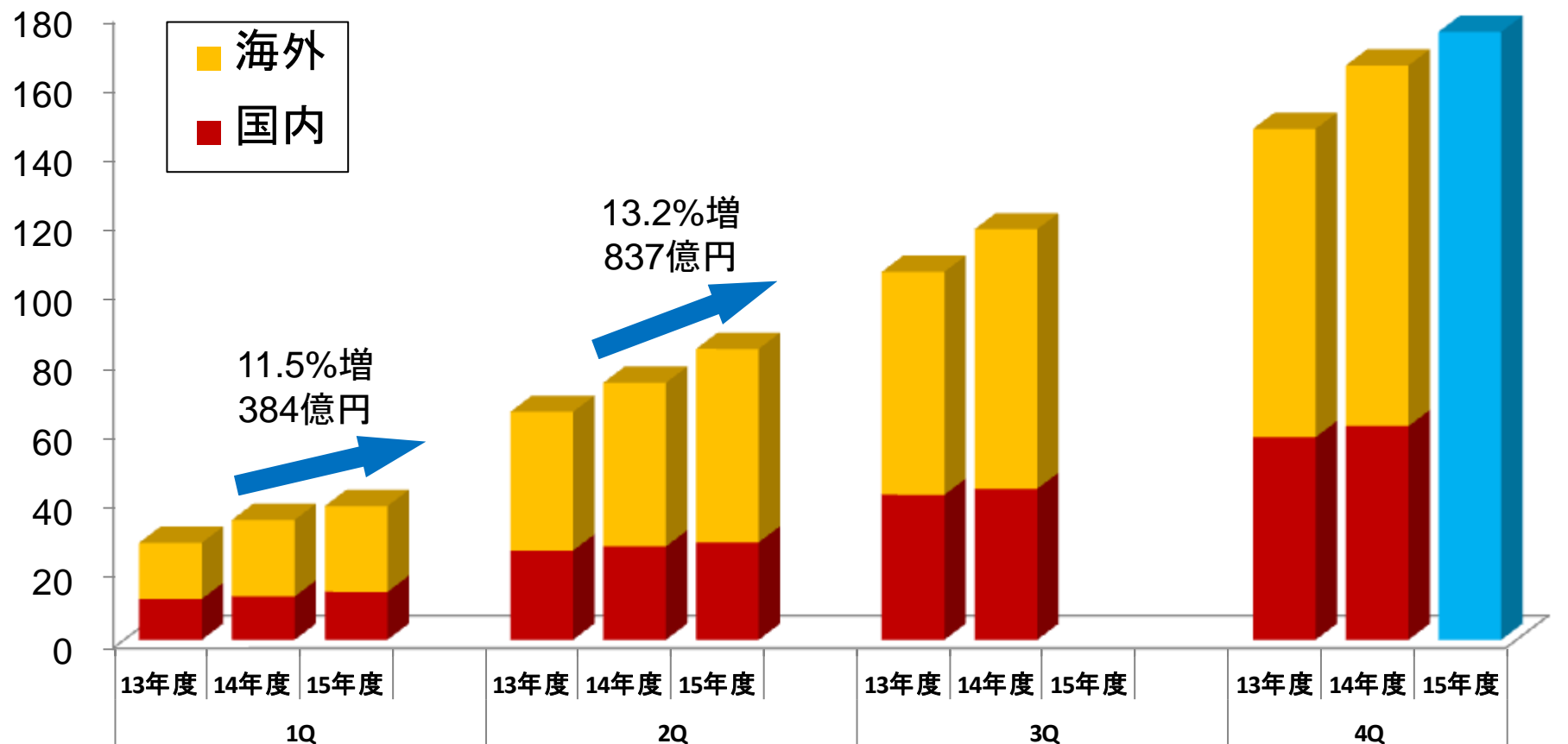
(単位:10億円)



1-3. 四半期累計売上高の推移

日本は増収。北米、南アジアが好調

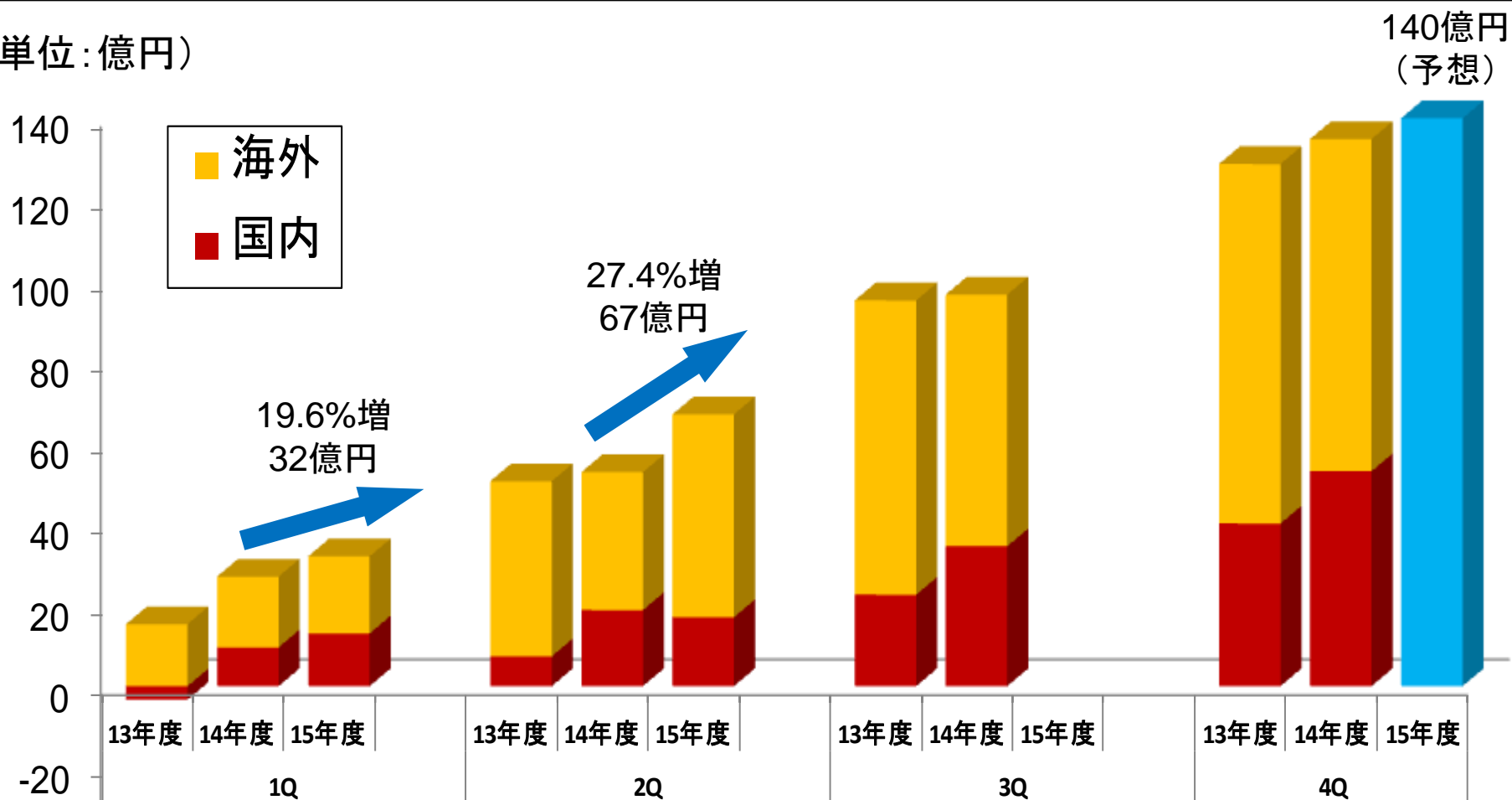
(単位:10億円)



1-4. 四半期累計営業利益の推移

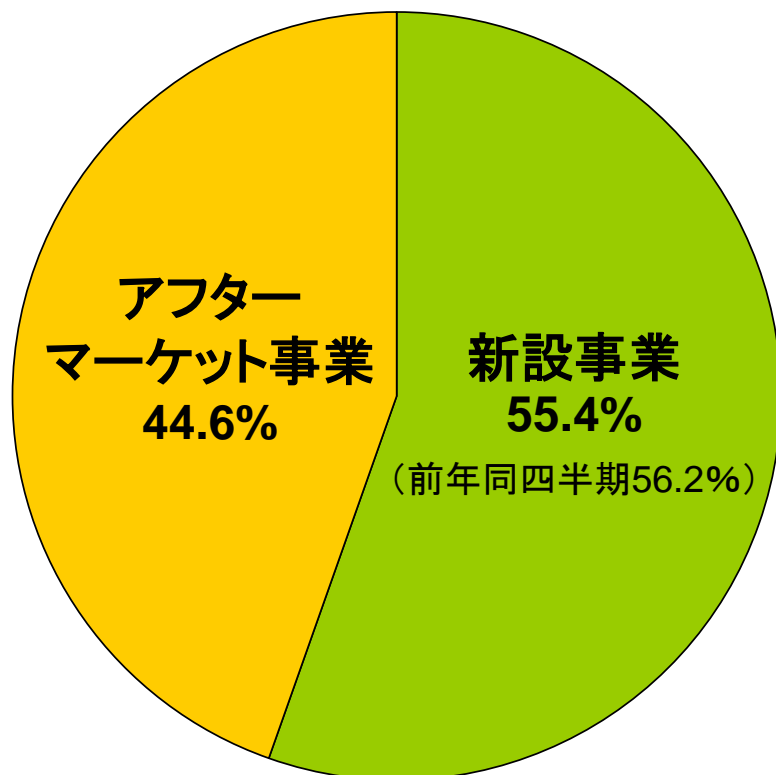
南アジア、東アジアが増益。北米も改善

(単位:億円)

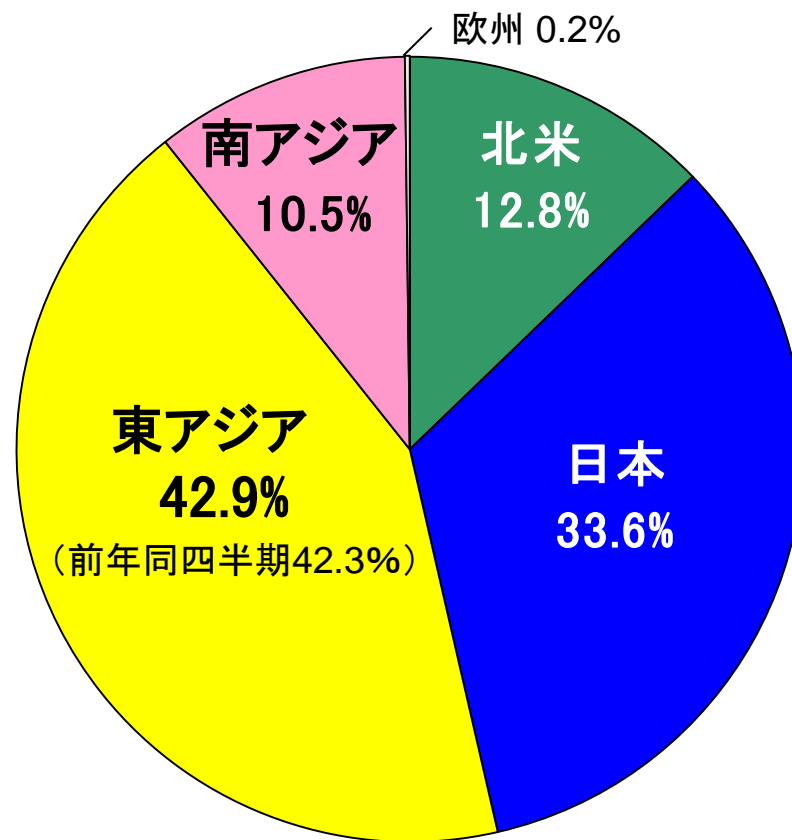


海外売上高比率が拡大

事業別売上高



セグメント別売上高



1-6. セグメント別売上高・営業利益

欧州を除く全てのセグメントで増収増益

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2016/3 (2Q)	2015/3 (2Q)	増減%	2016/3 (2Q)	2015/3 (2Q)	増減額
日 本	30,438	29,313	+3.8%	1,951	1,898	+53
東 ア ジ ア	39,909	34,465	+15.8%	3,822	3,085	+737
北 米	10,718	7,832	+36.9%	△141	△571	+430
南 ア ジ ア	8,757	7,422	+18.0%	1,125	812	+313
欧 州	230	269	△14.5%	△35	△16	△18
小 計	90,054	79,302	+13.6%	6,723	5,206	+1,516
調 整 額	△6,326	△5,325	-	△0	68	△69
合 計	83,728	73,976	+13.2%	6,723	5,275	+1,447

平均為替レート：16/3期 2Q 1米ドル120.16円、15/3期 2Q 1米ドル102.90円

市場の停滞感あるも増収増益基調を堅持

新設事業

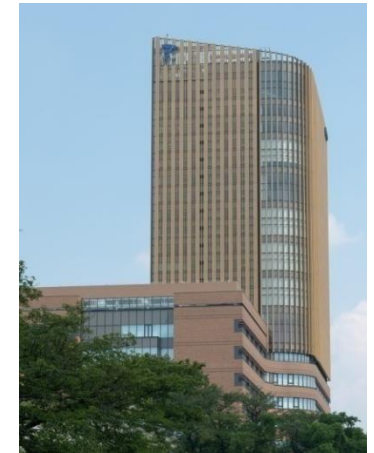
- ・売上高、利益とも堅調に推移
- ・販売価格が改善

アフター マーケット 事業

- ・売上高、利益とも堅調に推移
- ・モダニゼーション事業も順調に推移



梅田1丁目1番地計画ビル(仮称)
(大阪)



帝京大学 八王子キャンパス
(東京)

売上実質横ばい、増益確保

中国

- ・昇降機市場は伸び率が鈍化
- ・市場環境の悪化により受注競争が激化
- ・第2四半期は販売促進活動を強化
- ・弾力的な価格戦略を実施



シャングリ・ラ ホテル南昌
(中国)

香港
台湾
韓国

- ・香港、台湾が増収増益



グリーンイーグルス・ホンコン・
ホスピタル(香港)

増収増益

シンガ
ポール

- ・アフターマーケット事業が堅調に推移



ラディア・ブキット・ジェルトン
(マレーシア)

インド
アセアン
地域

- ・インドは増収。損益も改善
- ・アセアン地域は第2四半期に入り、
経済の停滞と通貨安で厳しい経営環境



イロイロ・ビジネス・パーク
(フィリピン)

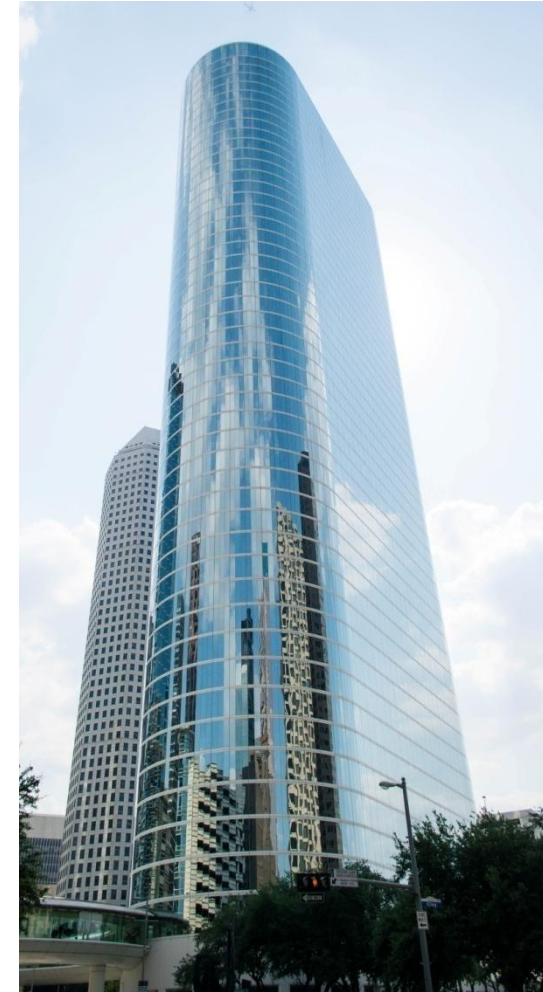
北米は景気が拡大し回復基調

北米

- ・新設、アフターマーケット事業ともに伸長
- ・営業利益は第2四半期単独で黒字化

欧州

- ・低調に推移



シェブロン1400スミス
(アメリカ)

1-11. 連結決算 B/S

(単位：百万円)

	2016/3 2Q末	2015/3末	増減額	備考
流動資産	128,289	132,134	△3,845	
現金及び預金	44,750	51,674	△6,923	日本・東アジアの減少
受取手形及び売掛金	53,266	53,184	+82	
棚卸資産	23,104	20,554	+2,550	日本・東アジアの増加
その他	7,167	6,721	+446	
固定資産	48,373	47,722	+651	
有形固定資産	34,047	32,885	+1,161	設備投資 +2,219 減価償却費 △1,169 為替ほか +111
無形固定資産	4,299	4,311	△12	
投資その他の資産	10,025	10,524	△498	
総資産	176,663	179,856	△3,193	
流動負債	70,405	71,406	△1,000	電子記録債務 △1,281
固定負債	4,111	3,829	+281	退職給付に係る負債 +282
純資産	102,146	104,620	△2,474	利益剰余金 +3,582 自己株式 △7,602 為替換算調整勘定 +958 非支配株主持分 +981
自己資本比率	50.9%	51.9%	-	
B P S	1,117.75円	1,074.82円	+42.93円	

営業活動キャッシュフローが減少

(単位：百万円)

	2016/3 2Q	2015/3 2Q	増減額
現金及び現金同等物期首残高	30,602	20,903	+9,699
営業活動キャッシュフロー	1,890	5,141	△3,250
投資活動キャッシュフロー	△3,100	△532	△2,567
フリーキャッシュフロー	△1,210	4,608	△5,818
財務活動キャッシュフロー	△7,608	464	△8,073
現金及び現金同等物期末残高	22,244	25,141	△2,896

2**2016年3月期 通期業績予想**

営業利益を下方修正

2016年3月期（修正前）

2016年3月期（修正後）

	売上高 (億円)	営業利益 (億円、利益率)	
日本	690	54	7.8%
東アジア	850	82	9.6%
北米	180	0	-
南アジア	160	17	10.6%
欧州	8	0	-
小計	1,888	153	8.1%
調整額	△138	△3	-
合計	1,750	150	8.6%

	売上高 (億円)	営業利益 (億円、利益率)	
日本	670	54	8.1%
東アジア	830	72	8.7%
北米	210	1	0.5%
南アジア	160	15	9.4%
欧州	5	0	-
小計	1,875	142	7.6%
調整額	△125	△2	-
合計	1,750	140	8.0%

平均為替レート：1米ドル115円

平均為替レート：1米ドル120円

日本：売上高を減額

(単位：百万円)

	2016/3	2015/3	増減%
売上高	67,000	65,514	+2.3%
営業利益	5,400	5,149	+4.9%
営業利益率	8.1%	7.9%	+0.2P

- ・営業利益は据え置き
- ・営業利益率は8.1%を見込む

東アジア：売上高、営業利益を減額

(単位：百万円)

	2016/3	2015/3	増減%
売上高	83,000	76,240	+8.9%
営業利益	7,200	7,328	△1.7%
営業利益率	8.7%	9.6%	△0.9P

平均為替レート：1人民元19円

- ・中国経済の減速が昇降機市場にも波及
- ・市場環境の悪化により受注競争が激化
- ・営業利益率は8.7%を見込む

南アジア：営業利益を減額

(単位：百万円)

	2016/3	2015/3	増減%
売上高	16,000	15,499	+3.2%
営業利益	1,500	1,558	△3.8%
営業利益率	9.4%	10.1%	△0.7P

平均為替レート：1シンガポールドル86円

- ・シンガポールは不動産投資引き締めで需要が減退
- ・インドネシア、マレーシア等は景気停滞と通貨安からプロジェクトが延伸

北米・欧州：北米が黒字化

(単位：百万円)

北 米	2016/3	2015/3	増減%
売 上 高	21,000	17,735	+18.4%
営 業 利 益	100	△582	-
営 業 利 益 率	0.5%	-	-
欧 州	2016/3	2015/3	増減%
売 上 高	500	601	△16.9%
営 業 利 益	0	△1	-
営 業 利 益 率	-	-	-

平均為替レート：1米ドル120円、1ユーロ135.5円

- ・北米は新設、アフターマーケット事業ともに伸長し黒字化
- ・欧州はブレークイーブンを堅持

設備投資・減価償却費・研究開発費・配当

(単位：百万円)

	2016/3	2015/3	増減額
設備投資額	7,700	4,216	+3,484
国内	2,000	1,441	+559
海外	5,700	2,775	+2,925
減価償却費	2,900	2,373	+527
研究開発費	2,000	2,023	△23

(単位：円)

	2016/3	2015/3	増減額
配当金	30	24	+6
中間	15	12	+3
期末	15	12	+3
自己株式の取得	6,491,400株 (2015年4月9日)	6,000,000株 (2015年2月13日)	

3

中期経営計画最終年度の取り組み

中期経営計画“Grow Together! Yes, Fujitec Can”

FUJITEC

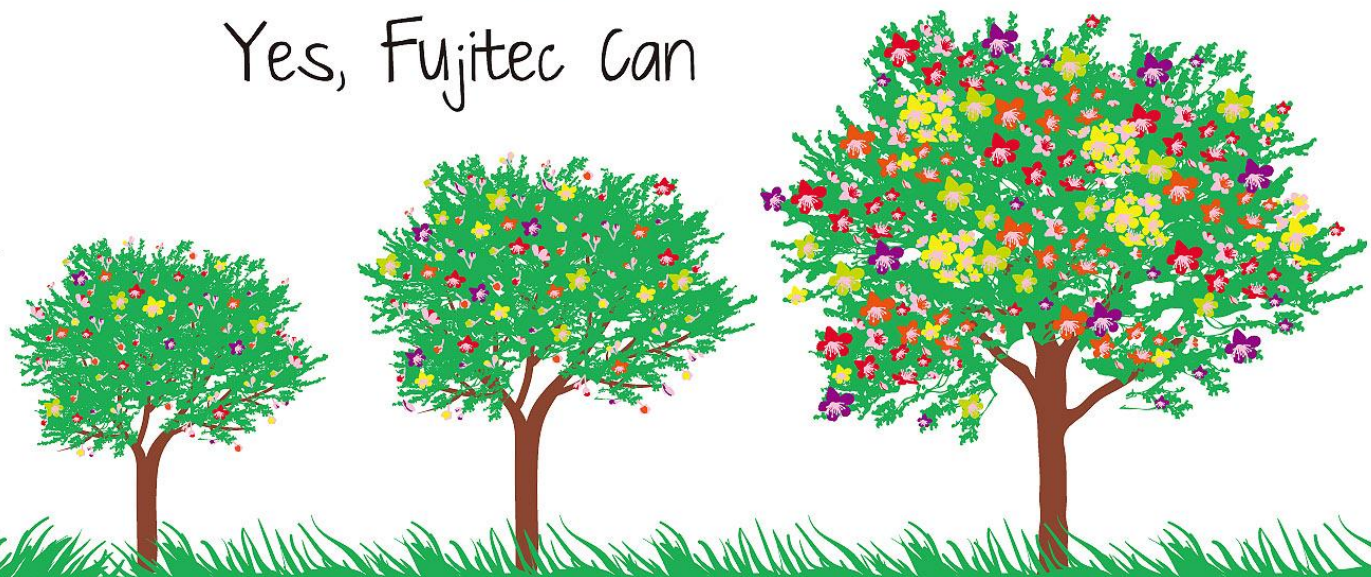
Grow Together!

Yes, Fujitec Can

中期経営計画 2013～2015年度

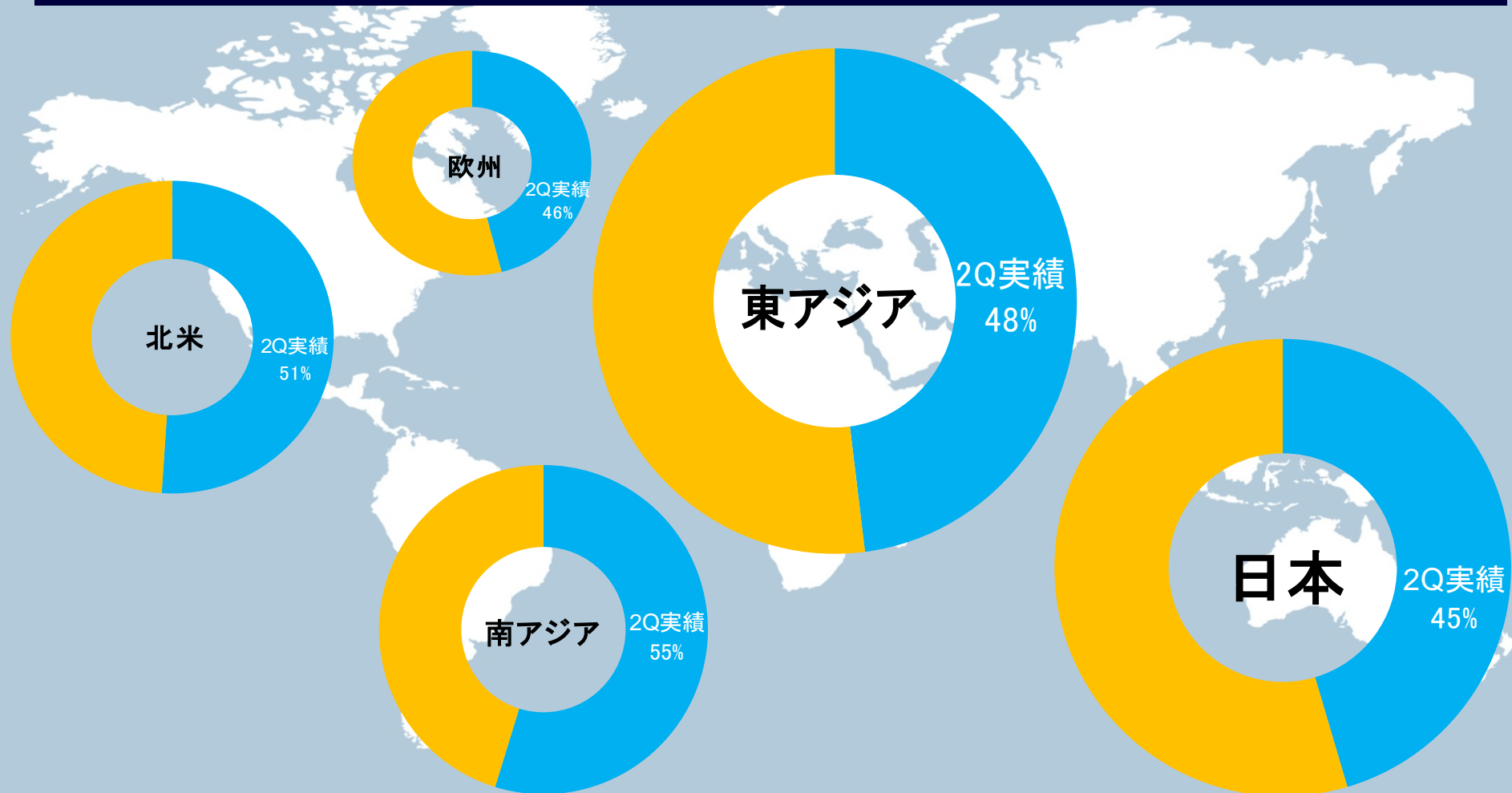
【行動ビジョン】

- 1、グローバル市場において、フルラインプロデューサーとして商品供給力とコスト競争力を高める。
- 2、日本を含むアジア地域での生産再編を加速し、グローバルサプライチェーンの改革を実現する。
- 3、安全と品質を最優先に、顧客の信頼と期待に応える。
- 4、グローバル人材の育成を強化する。



3-2. 中期経営計画進捗状況

【売上高】中期経営計画最終年度の計画進捗率

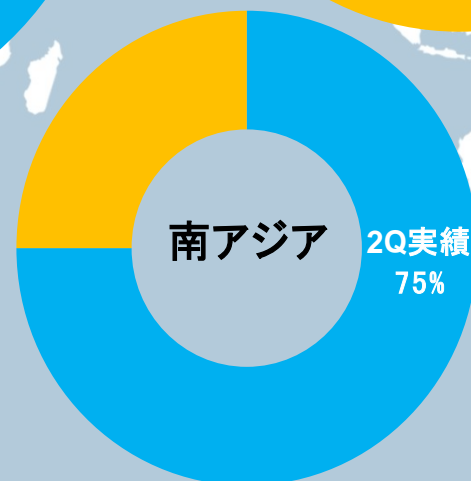
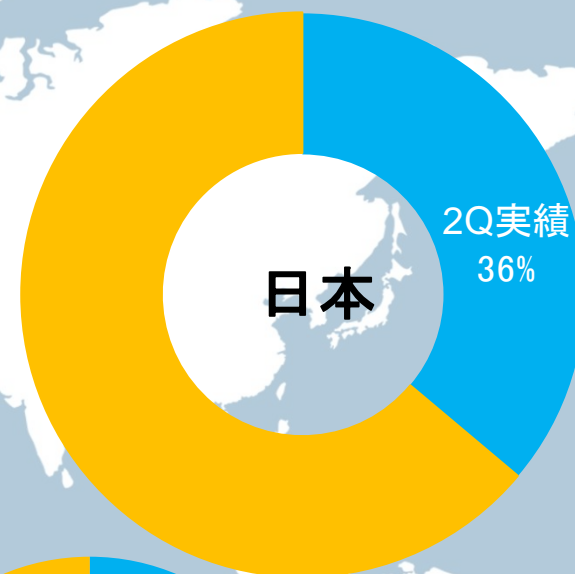
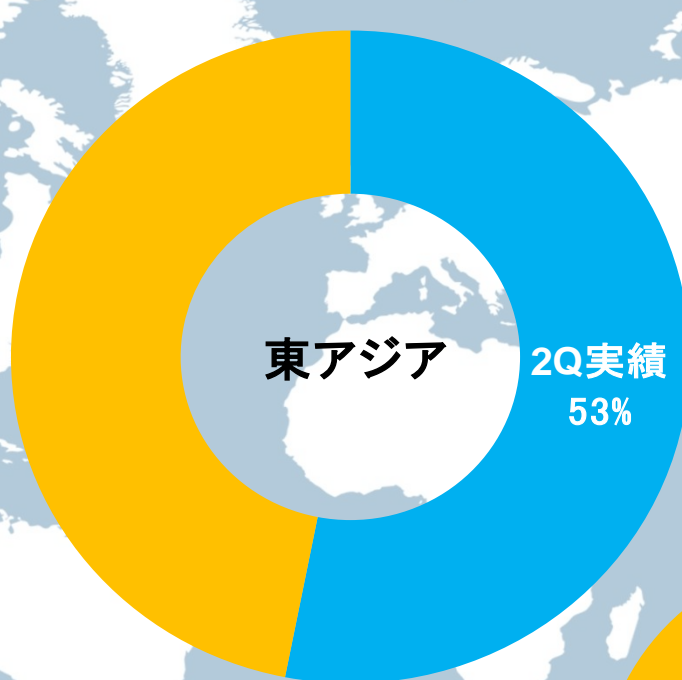


3-2. 中期経営計画進捗状況

【営業利益】中期経営計画最終年度の計画進捗率

北米
2Q実績: $\Delta 141$ 百万円

欧州
2Q実績: $\Delta 35$ 百万円



日本市場の施策

■ 再開発事業関連の受注に向けた取組み強化



■ 首都圏を中心にした営業活動のさらなる推進



中国市場の状況と取組み

■ 昇降機市場の成長鈍化で競争が激化



ZEXIAの拡販

輸出の拡大

代理店の拡大

新規顧客開拓

インド:国内の販売環境が改善

- 新政権の下、市況が好転
- 受注は好調に推移
- 主要都市で拡販を強化



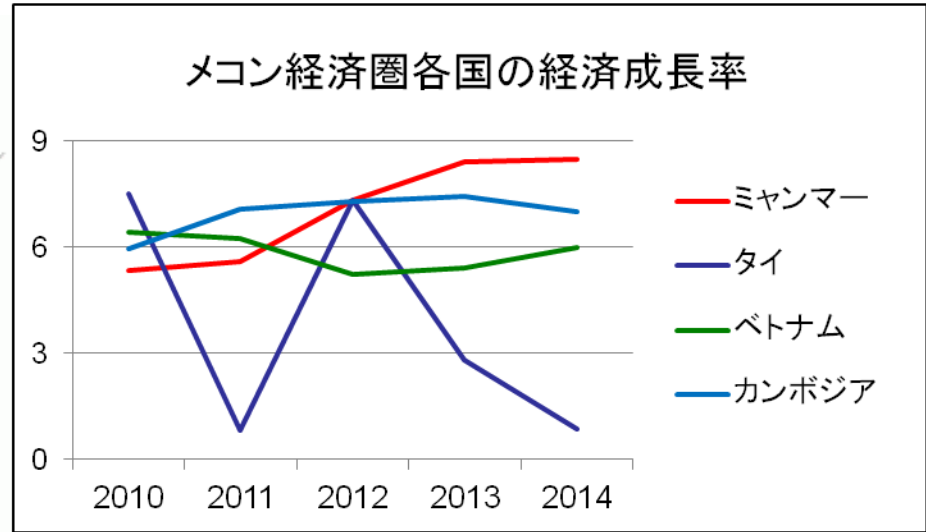
受注増を目指し販売を展開

ミャンマーに新拠点を設立

フジテック・ミャンマー
(2015年6月設立)
・最大都市ヤンゴンに設置

タイ
ベトナム
カンボジア

メコン経済圏各国の経済成長率



出典:IMF資料より作成

ヤンゴン市内の様子



參考資料

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場)
本社	滋賀県彦根市 ビッグウィング
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数93,767,317株）
役員	代表取締役社長 内山高一 取締役：7名（うち社外3名） 監査役：4名（うち社外2名）
従業員数	連結 9,261名（個別 2,826名）
関係会社	34社（内、連結子会社19社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東）

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2015年11月25日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2015年11月25日

フジテック株式会社

2016年3月期第2四半期 決算説明会資料

